

## 市長タウンミーティングを開催しました

今回は「子ども・子育て」をテーマに市長が様々な世代の皆様の意見や思いを伺いました。

開催日時 令和5年11月26日（日）午前10時～11時30分

開催場所 所沢市役所大会議室

参加者 182名



## 市長コメント

市長に就任して初めてとなりますタウンミーティングを「子ども・子育て」をテーマに開催いたしました。

たくさんの市民の皆さまにご参加いただきまして、改めまして感謝申し上げます。

1時間30分という限られた時間ではありましたが、「発達障害児への支援拡充」、「育休退園制度」、「不登校児童」、「保育士現場」など、大変ご意義のあるご意見を様々いただきました。

いただきましたご意見を今後の市政に生かして参りたいと考えております。有難うございました。

## 参加者の声

- 1 小学生以上の子どもの声を聞いてほしい。聞く際には、タウンミーティングやパブリックコメントではなく、子育て世代に近い職員や市長が直接聞いてほしい。また、普段着を着て、お父さんという形で聞いてほしい。
- 2 保育施設を新設するよりも、空いている施設を利用したほうがいいのではないかと。また、ワクチン接種後の情報をしっかりと公開して正しくリスクを判断できるようにしてほしい。
- 3 2015年に育休退園制度が導入されるまでは、地域型保育園を卒園する児童には、翌年100点の加算がされた。しかし、育休退園制度導入と同時に加算が20点まで下がった。育休退園制度廃止に伴って、加算を100点に是正すべきではないかと。
- 4 現在療育園は、松原学園とかしの木学園の2つのみであり、かつ1か所に集中しているため、療育園を増設してほしい。また、発達グレーと呼ばれる児童への支援を拡充してほしい。
- 5 受け入れてもらえない子どもたちが、自立して幸せに、社会全体に受け入れられるようにしてほしい。
- 6 育休退園した人にも、保育保護者説明会の情報が届くようにしてほしい。また、先月30日に原則育休退園廃止と宣言された際に、保育幼稚園課に連絡をしたところ、担当の人が何のことかわかっていない様子だったため、しっかりと順序立ててやってほしい。
- 7 児童が生まれたときに母親たちが集う場所や、小学生の子供たちが集える場所を、行政のほうでさらに取組んでもらい、市全体が子育てをしやすい地域を目指してほしい。

8 子育てにおいて、お金が先立たなくて諦めたこともあるので、応援、情報を教えてくれる場所、お金等を支援してほしい。

#### 9 不登校児童の居場所について

市が主導して、所沢で頑張っている団体の横のつながりを作っ  
てほしい。また、低年齢化している子どもたちへの支援もお願い  
したい。そして、子どもたちそれぞれが選択した居場所で、学び  
方や育ちを尊重してもらえるような市になってほしい。

10 不登校の子供への面談・対応をする場合には専門の方を間  
に入れる、もしくは、その場についてもらう等の対応を市役所、  
学校等各所をお願いしたい。また、学校づくりの手掛かりに『夢  
見る小学校』という映画を見てほしい。

11 1点目。勉学や、居場所づくりのためにも、図書館等を活  
用して自習室をつくってほしい。2点目。各拠点にある程度商業  
施設があって生活用品がそろっていくような街づくりをしてほし  
い。3点目。放射線除染土は入れてほしくない。4点目。保育士  
の人数の充実、環境の確保をしたうえで、枠の拡大や安全性・質  
を維持してほしい。5点目。3歳児検診の際に、弱視を発見でき  
るように視力検査をしてほしい。

12 小さい時期に子どもの自己主張や気持ちを受け止めること  
が自己肯定感の育ちにもつながると思うので、保育士の配置基準  
の改善をしてほしい。また、他市との給与面での待遇改善もして  
ほしい。

13 孫育ての世代として関係があるので、放射能除染土につい  
て、前市長と同様に、住民が認めなければ認めないという姿勢を  
貫いてほしい。

14 保育園を継続利用ができる体制にしてほしい。

15 所沢独自の子ども手当のようなものを作ってほしい。また、子育てに関するイベントの周知を SNS 等の効果的なものでおこなってほしい。

16 保育園の増設、及び保育士の増員をしてほしい。また、所沢の保育園は老朽化が進んでいるので、市長に時々覗いてほしい。そして、子どもが風邪をひいたときに、休まなければならない負担が大きいので、東京都のようなベビーシッター券を作ってほしい。

17 日本一を目指すのであれば、子育て予算を2倍、3倍にしたほうがよいのではないか。また、タウンミーティングをネット配信してほしい。